

小樽港北防波堤 (小樽・平成12年度)

小樽築港の枢要。札幌農学校二期生廣井勇による、日本初の本格的コンクリート外洋防波堤。日本海の荒波に百年以上耐えている（明治41年）



旭 橋 (旭川・平成14年度)

日本を代表する大型のバランス型のタイドアーチ橋。70年を経た現在も幹線交通を支える（昭和7年）



函館水道施設群 (函館・平成13年度)

日本人による初の近代水道施設（元町配水池，明治22年）と日本初のバットレスダム（笹流ダム，大正12年）原形を尊重した補修が施された



北海道から選ばれた 土木学会選奨土木遺産



稚内港北防波堤ドーム (稚内・平成15年度)

ドーム型の円蓋により、海陸連絡を波飛沫から防護する類例のない設計。原形保存に徹した復元と補修で次代へと受け継がれる（昭和11年）



石狩川捷水路 (札幌，石狩，当別・平成14年度)

わが国を代表する大規模な捷水路建設。石狩川の治水とあらたに、広大な農地が生み出された（昭和9年）



狩勝峠鉄道施設群 (新得・平成15年度)

北海道の東西を結ぶ根室本線の開通時に建造された鉄道施設遺構群。山裾に沿ったS字曲線の大型築堤，隧道，煉瓦造の橋梁など（明治40年）

私たちの生活を支えてきた土木施設
先人が築いた土木施設を改めて見直し，後世に伝え，活用するために
平成12年度から始まった，土木学会選奨土木遺産制度
日本各地の歴史的な土木施設が選奨され，北海道からは6件が選ばれてきました